

日本データマネジメント・コンソーシアム (Japan Data Management Consortium)

FY25 エントリー研究会のご紹介

2025年5月16日

JDMC研究会企画部会 リーダ

株式会社NTTデータ バリュース・エンジニア

池田 信威 (Ikeda Nobutake)



日本データマネジメント・コンソーシアム
Japan Data Management Consortium [JDMC]

1. FY25 エントリー研究会のご紹介



※FY24との変更点を赤字で記載

テーマ1

AI・データ活用のための
コンプライアンス
研究会

SBIホールディングス
佐藤 市雄

テーマ2

データマネジメント
の価値研究会

キリンビジネスシステム
佐藤 匠

テーマ3

MDMとデータ
ガバナンス研究会

NTTコム オンライン・マーケ
ティング・ソリューション
水谷 哲

テーマ4

データドリブン経営
研究会

旭化成
安田 航

テーマ5

生成AIによる
データ管理研究会

メタデータ
野村直之

テーマ6

非財務（ESG）
データのマネジメント（サス
テナビリティデータ活用）
研究会

富士通
永野友子

テーマ7

ウェルビーイング視点
でのヒトとAIのデータ
相互活用研究会

NECソリューションイノベータ
羽田 亨

研究会からコミュニティへ

発生なし

FY25 研究会リーダーからの活動内容の 紹介

テーマ1 AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会



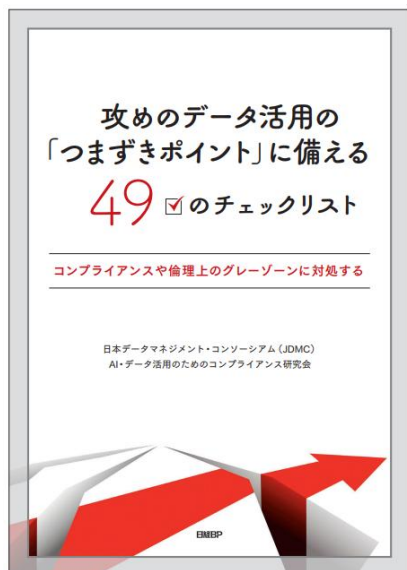
テーマ1

AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会

SBIホールディングス
佐藤 市雄



2022年3月14日より発売



AI・データ活用の拡大に伴う倫理的課題や今後のビジネス拡大のためのつまずきポイントや解決策に向けた解決策についてディスカッションと2022年に出版した倫理フレームワーク®の深掘りと、浸透、実務への適応に取り組む研究会です。

- 生成AI・データの利活用を検討・推進している方
- AI・データ活用における契約・コンプライアンス・個人情報保護に課題を感じている実務者・法務担当者
- AI・データ活用における倫理に関心のある方
- コンプライアンスに関心を持ち、データ・AI倫理の指針に貢献したい意欲のある方

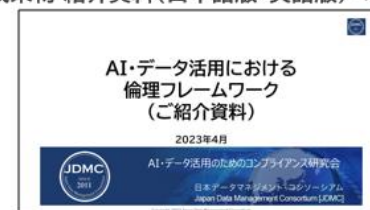
「倫理フレームワーク」とは

- AI・データ活用にて新しいことに取り組む際に、事前に「つまずきポイント」を見つけ対策を講じていくことが大切となります。しかしながら、法令に基づく確認だけでは不十分なため、**倫理観点で見つける必要があります。**
- 「倫理フレームワーク」は、最近の問題事例を分析して判り易い体系に整理した、現代において最も適切な内容となっています。
- 「倫理フレームワーク」では、右図の**5つの倫理項目**で整理しています。そして、倫理の項目の下に**14個の「つまずきポイント」**があり、その下に**49個の「チェック項目」**を用意しています。



公開資料

1. 「AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会」の成果物 紹介資料(日本語版・英語版) + 説明動画



「AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会」
公開資料・日本語版(公開日:2023/4)

2. 「AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会」の成果物
倫理フレームワーク(シンプル版)Excel形式(日本語版・英語版)

倫理フレームワーク
(シンプル版2) ダウンロード
Excel形式

倫理フレームワーク
利用ガイド
ダウンロード

倫理フレームワーク
情報整理シート
ダウンロード

本年度の活動テーマ

- ①生成AIの課題深堀り検討
- ②倫理フレームワークのアップデート

テーマ2 データマネジメントの価値研究会



テーマ2

データマネジメントの 価値研究会

キリンビジネスシステム
佐藤 匠

初級

中級

上級

データマネジメントの価値創出に向けて研究会メンバーの会社で発生している個々問題の背景、状態、根本原因に着目し、その攻め方、実践の取り組み方、巻き込み方についての仮説、検証よりノウハウをまとめる研究会です。

- 通年、月一回の定例研究会（原則対面・東京圏で開催）に参加できる方
- データマネジメントの価値創出を通じて組織の意識を変えたいビジネスリーダー

サブテーマごとにワーキングチームを組織し、チームで議論・仮説検証

研究会

チーム1
DM実践

価値を発揮するための「データマネジメントの実践」
ロードマップや自社DM組織検討のポイント整理

チーム2
DM巻き込み

価値を発揮するための「データマネジメントへの巻き込み」
業務・IT様々な立場の本音から巻き込みのポイントを導く

テーマ3 MDMとデータガバナンス研究会



テーマ3

MDMとデータ ガバナンス研究会

NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション
水谷 哲

初級

中級

上級

非公開のサロンとしてMDM (マスターデータマネジメント)およびデータガバナンスの事例や理論から管理手法、テクノロジー、哲学に至るまで語りあい学ぶ場です。苦労話や自慢話、技術紹介やソリューション紹介(宣伝可)など月一回で共に学び、討議、語り合う研究会です。

- MDM・データガバナンスのキーワードの話題でいろいろ勉強したい人
- MDM・データガバナンスについて実践・理論・異論を語りたい人
- 関連する製品の紹介をしたい人(飛び入り可)
- 直接の関心はないが、ITにとってMDM・データガバナンスが重要だと考える人

1. MDMサロン：みんなの情報交換

基本クローズドな環境で、公式には交換できないような体験・事例・技術・製品をふくめた情報共有し、ディスカッションします
話題はいわゆるMDMに閉じません。これまでもノーコードツール・SCMソリューション・APIツール・反社チェックなどを違和感なく取り入れてきました

2. MDMテーマ：議論と切磋琢磨

本質を問う議論 (MDMとは、メタデータとは)、テクニック論 (名寄せとは、データモデリングとは)、方法論 (EA:エンタープライズアーキテクチャとは、成熟度とは)、社会問題 (ESG・生成AIとMDM)など、研究会のファシリテーションのもと議論し知見を得ます

テーマ4 データドリブン経営研究会



テーマ4

データドリブン経営 研究会

旭化成
安田 航

初級 ☐

中級 ☐

上級 ☐

企業がデータドリブン経営を進める上での課題について、
各自の経験談や有識者の知見を持ち寄り、
最適な解決案を共に考え、学び合う研究会です。



- データドリブン経営の推進に携わる方
- データに関わる仕事をされている方
- データマネジメント分野に興味ある方

⇒ 事業会社、ベンダー、コンサル、学術機関 いずれの立場でも大歓迎！

データドリブン経営 = 勘と経験と度胸でなく、データに基づいてビジネスの打ち手を打つ

昨年度までの研究結果

データドリブン経営に向けて重要なこと
⇒ 【目的】の明確化

- ✓【目的】= 解きたいビジネスの課題の解決
- ✓【目的】は時間とともに形骸化 → 変化対応が重要
- ✓データにおける利害関係の不一致
→ クロスファンクショナルチームで【目的】を共有
- ✓日本企業的問題？ → だからこそJDMCで取り組む

今年度やりたいこと

日本企業のデータドリブン経営を助ける
ガイドラインやノウハウ集を作ろう！

- ✓どのようなアウトプットか未定（アイデア募集！）
- ✓ビジネス・人組織・テクノロジーの観点で、毎月のテーマを決めてディスカッションやっていきます！
- ✓事業会社、ベンダー、コンサル、学術機関 など、
いろいろな立場の方と意見交換したいです！

テーマ5 生成AIによるデータ管理研究会



テーマ5

生成AIによる データ管理研究会

メタデータ
野村直之

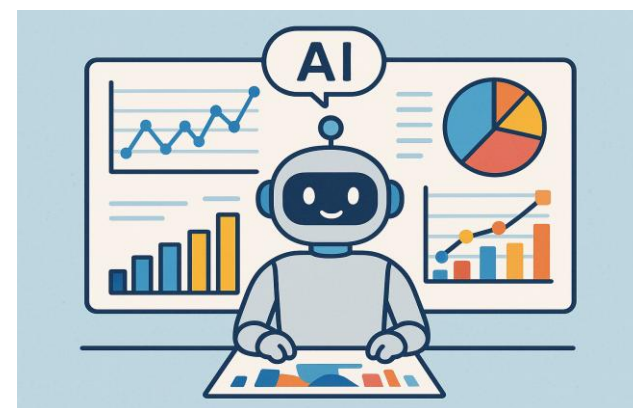
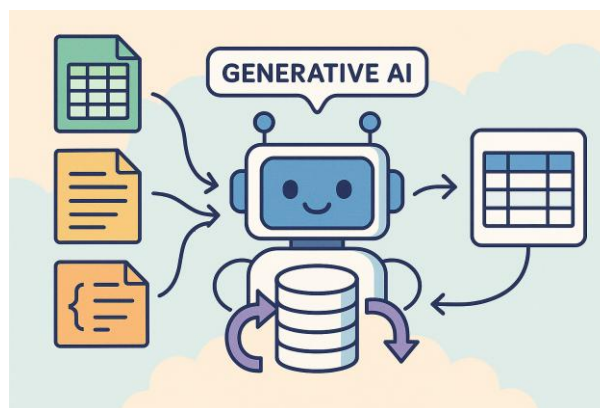
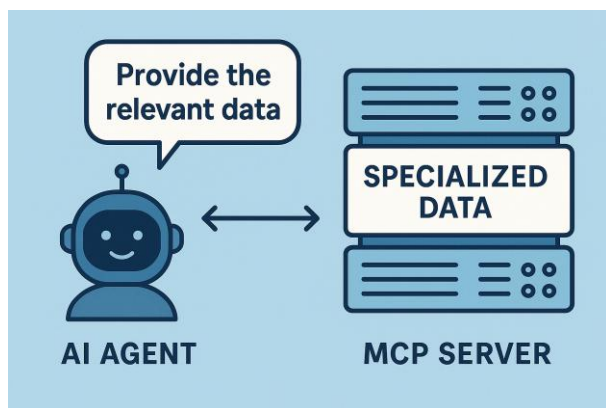
初級

中級

上級

生成AIを用いたデータ連携、加工（含、クレンジング）、管理、分析の実践的研究成果や耳よりな情報を持ち寄り、共有する研究会です。25年度はデータ連携を重視し、AIEージェント活用により、プロンプトで必要データ入手させたり等の仕組み化等も検討します。

- 方針：その時点で最新の、新種の生成AIによるデータ管理、検証、分析の可能性を追求する。例えばMCPなど、LLMのベンダ間切替や接続を容易にする実装プラットフォームなど、デファクトになりそうな規格などが現れれば取り上げます。
- 対象：生成AIにプロンプトエンジニアリングや、ファインチューニングを施したり、RAG技術、Eージェント・インタフェースを付加することによりData加工、連携、分析に役立てられないか期待する人々。
- 活動スタイル：ハンズオンを重視しますが、既に他で検証され、うまくまとめられた成果があればそれらを活用してJDMC参加企業の活動目的向けに"通訳"し、アレンジするのも有りです。



テーマ6

非財務（ESG）
データのマネジメント（サ
ステナビリティデータ活用）研
究会

富士通
永野友子

初級

中級

上級



2050年のネットゼロ達成に向け、ESG投資加速と共に、欧州では企業サステナビリティ報告指令（Corporate Sustainability Reporting Directive : CSRD）による**サステナビリティ報告を財務報告レベル**にしていくことや**データタグ付け**などが求められています。一方、欧州法規制の延期や米国の政権交代など取り巻く世界動向も変わってきました。今だからこそ、**企業価値に繋がるデータや、データ公開に関する課題や課題解決**に向け取り組み、**成果の共有と普及**を行う研究会です。

- 経営企画部門など、非財務情報開示に関心を持つ実務担当者、ビジネスリーダー
- データ利活用を含めたDXを推進しようと考えているデータサイエンティスト
- GX(Green Transformation)やSX(Sustainability Transformation)を推進する事業の実務者

ネットゼロ：

2015年のパリ協定で示された目標

- ≡ 2050年までに世界の平均気温の上昇を1.5℃に抑える
- ≡ 2050年まで炭素排出量（温室効果ガス）を差し引きゼロにすること

CSRD

企業サステナビリティ報告指令

EU域内の全ての大企業

EU域内市場の上場企業（零細企業は除く）

第三国に親会社があるEU域内子会社

EU域内の売上高が大きいEU域外の企業

<https://emira-t.jp/pedia/18382/>

<https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=105089#>

テーマ7

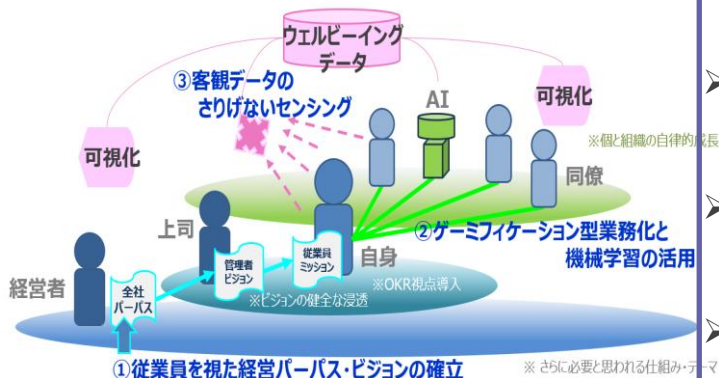
ウェルビーイング視点での
ヒトとAIのデータ
相互活用研究会

NECソリューションイノベータ
羽田 亨

初級 中級 上級

研究会概要： 人の**ウェルビーイング**関連データを**行動**や**振る舞い**からデジタル的に**取得**し、そのデータを活用して**フィードバック**することでウェルビーイング改善に近づける方法を、デジタル接点や**データ解析**、**AI活用手法**を用いて考える研究会です。

- 小売業、製造業など従業員のウェルビーイング、および、経営・組織ビジョンに対する従業員エンゲージメント改善等に興味がある方や深堀をしてみたい方
- 従業員ウェルビーイングの向上に関わられているコンサルやITベンダーの方



FY25での研究会テーマ概要：

- ウェルビーイングに関連するヒトとのデジタル接点、および、そこで取得できるデータの調査と整理。
- 従業員のウェルビーイングを継続的に改善・維持していくための仕組みを仮説検討。
- 現実の現場におけるウェルビーイング改善施策の有効性確認。

予定アウトプット：

従業員ウェルビーイングを改善・維持していくための仕組みとデータの仮説

ウェルビーイング判断のための客観的データの取得と分析・AI活用方式の仮説

従業員による仮説検証計画
(できれば仮説検証スモールスタート)

想い： 自社の経営パーパスや組織ビジョンの改善から、業務現場でのゲーミフィケーション的な施策導入、および、組織のエンゲージメントスコアだけでなく客観的なウェルビーイング状況を見てみたい！ といった課題感を持っている方はぜひ一緒に学びながら意見交換していきましょう！

■ JDMC研究会とコミュニティ

● 研究会一覧（7）

- 1 AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会
- 2 データマネジメントの価値研究会
- 3 MDMとデータガバナンス研究会
- 4 データドリブン経営研究会
- 5 生成AIによるデータ管理研究会
- 6 非財務（ESG）データのマネジメント（サステナビリティデータ活用）研究会
- 7 ウェルビーイング視点でのヒトとAIのデータ相互活用研究会

● コミュニティー一覧（6）

- 1 エンジニアの会
- 2 DM実践勉強会
- 3 データマネジメント座談会
- 4 マーケティングにおけるデータ活用
- 5 MDM白熱教室（少人数・招待制）
- 6 オープンデータ活用

研究会の詳細について



https://japan-dmc.org/?page_id=23759

コミュニティの詳細について



https://japan-dmc.org/?page_id=23765

研究会とコミュニティの特徴については[こちら](#)

FY25 研究会への皆様のご参加をお待ちしております



- FY25 研究会の募集期限は、**来週末5/23(金)**です
研究会の発足は、5/23終日の時点で**5名以上のエントリー**が必要です

テーマ1

AI・データ活用のための
コンプライアンス
研究会

SBIホールディングス
佐藤 市雄

テーマ2

データマネジメント
の価値研究会

麒麟ビジネスシステム
佐藤 匠

テーマ3

MDMとデータ
ガバナンス研究会

NTTコム オンライン・マーケ
ティング・ソリューション
水谷 哲

テーマ4

データドリブン経営
研究会

旭化成
安田 航

テーマ5

生成AIによる
データ管理研究会

メタデータ
野村直之

テーマ6

非財務（ESG）
データのマネジメント（サス
テナビリティデータ活用）
研究会

富士通
永野友子

テーマ7

ウェルビーイング視点
でのヒトとAIのデータ
相互活用研究会

NECソリューションイノベータ
羽田 亨

お申込み先方法については
[こちら](#)

研究会の詳細について

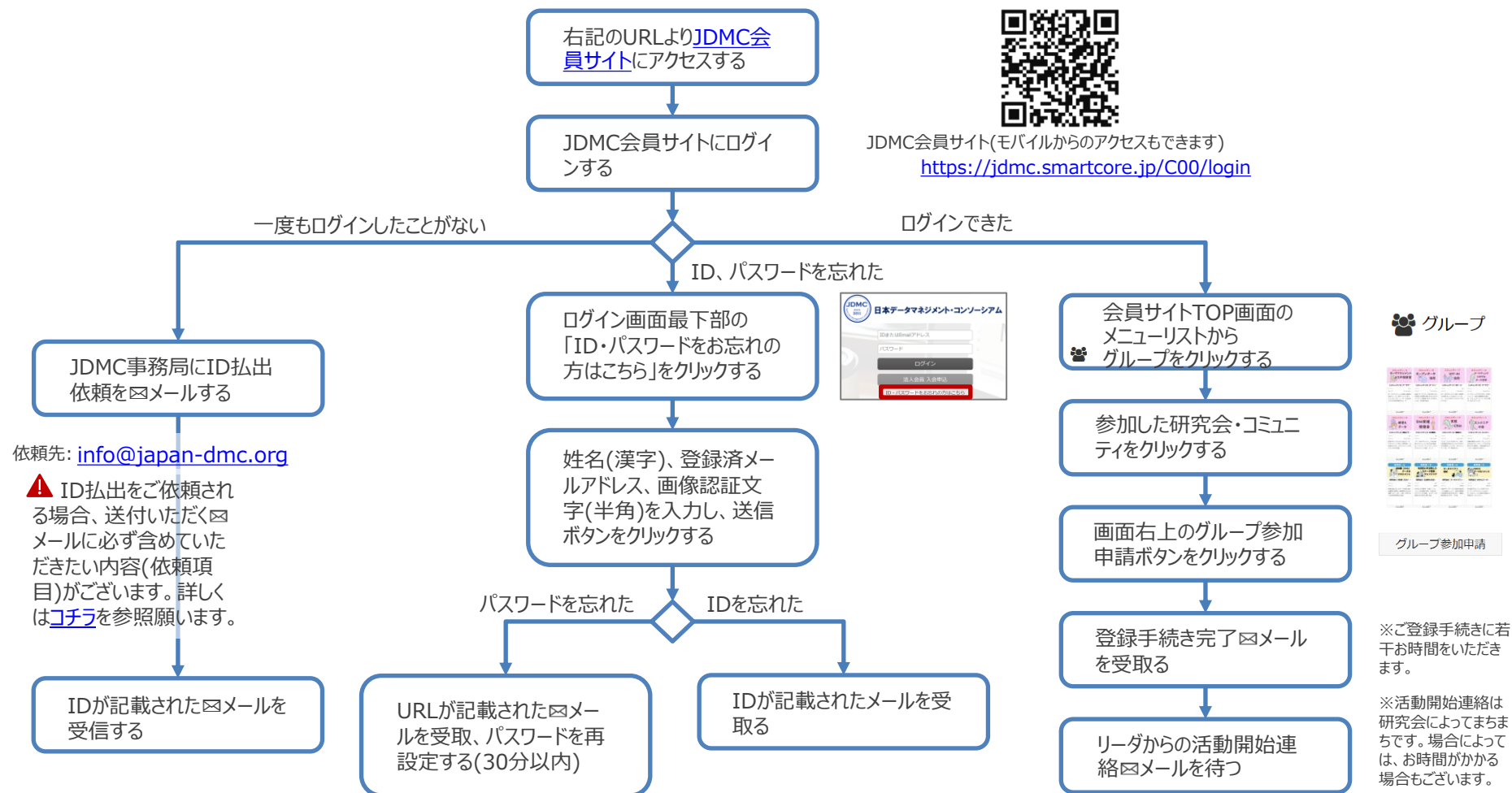


https://japan-dmc.org/?page_id=23759

■ JDMC研究会とコミュニティ

	研究会	コミュニティ
主催	JDMC (および、JDMC研究企画部会) ※研究会のリーダー、サブリーダーは自動的にJDMC研究企画部会メンバーとなります	JDMC会員による自主運営
目標設定	研究会毎に目標設定 (会員から募集したテーマをもとに、JDMC研究企画部会が所管し、テーマを設定)	グループ毎に目標設定
運営スタイル	- サロン形式 - ワークショップ形式	- 自由討議 - 研修やハンズオン - 共同作業などの
参加条件	- 募集人数制限なし - JDMC会員であること	- グループ毎に参加条件が設定 - リーダーによる招待制のグループもあり
研究成果責任	あり	なし
活動費用補助	あり（上限あり）	なし

Appendix2. 研究会、コミュニティへの参加申し込み方法



■ JDMC会員サイトのID払出依頼メール記載内容

 依頼メールには必ず、以下赤字の内容を含めてください。

依頼先：info@japan-dmc.org

メールタイトル： JDMC会員サイトのID払出依頼

JDMC事務局 会員サイトID発行ご担当者様お世話になっております。

××××株式会社の〈お名前〉とします。

この度、研究会・コミュニティへの参加のため、以下の内容でJDMC会員サイトIDの発行をお願いいたします。

〈会社名〉

〈お名前漢字名〉

〈ふりがな〉

〈メールアドレス〉

よろしくお願いします。

××××株式会社

〈漢字名〉

補足

このメールの内容をお送り頂いたあと、JDMC事務局がIDを発行し、会員システムから自動でID払い出し完了メールが登録のメールアドレスに届きます。なお、こちらからの「受け取りました」の返信メールは省略させて頂いておりますのでご了承ください。

もし5営業日を経過しても自動メールが届かない場合は事務局までお問合せください。